

## 解析学 II 解答例

2011.05.02

問題 関数  $f(x)$  を

$$f(x) = \sum_{n=0}^{\infty} \frac{x^n}{n!}, \quad x \in \mathbb{R}$$

で定義するとき, すべての  $x, y \in \mathbb{R}$  に対して  $f(x+y) = f(x)f(y)$  が成り立つことを示せ. ここで, 和の順序交換の妥当性は示さなくても良い.

(解) 二項定理を用いて,

$$f(x+y) = \sum_{n=0}^{\infty} \frac{(x+y)^n}{n!} = \sum_{n=0}^{\infty} \frac{1}{n!} \left( \sum_{k=0}^n {}_n C_k x^k y^{n-k} \right) = \sum_{n=0}^{\infty} \sum_{k=0}^n \left\{ \frac{x^k}{k!} \cdot \frac{y^{n-k}}{(n-k)!} \right\}$$

となる.

$$A = \{ (n, k) \in \mathbb{Z}^2 \mid 0 \leq k \leq n \}, \quad B = \{ (p, q) \in \mathbb{Z}^2 \mid p \geq 0, q \geq 0 \}$$

とおき,  $B$  から  $A$  への変換  $k = p, n = p + q$  を考える. このとき,  $f(x+y)$  において和をとる  $(n, k)$  は  $(n, k) \in A$  であること, および, 変換  $k = p, n = p + q$  は  $B$  から  $A$  への全単射であることに注意したい.  $f(x+y)$  における和を  $(p, q)$  で表すと,

$$f(x+y) = \sum_{p=0}^{\infty} \sum_{q=0}^{\infty} \left( \frac{x^p}{p!} \cdot \frac{y^q}{q!} \right) = \sum_{p=0}^{\infty} \left\{ \frac{x^p}{p!} \left( \sum_{q=0}^{\infty} \frac{y^q}{q!} \right) \right\} = \sum_{p=0}^{\infty} \left( \frac{x^p}{p!} f(y) \right) = f(x) f(y)$$

となる. ■